

11 保育園の「待機児童ゼロ対策」に取り組みます



保育園の待機児童ゼロをめざし、ゆとりある保育基盤を整備します。

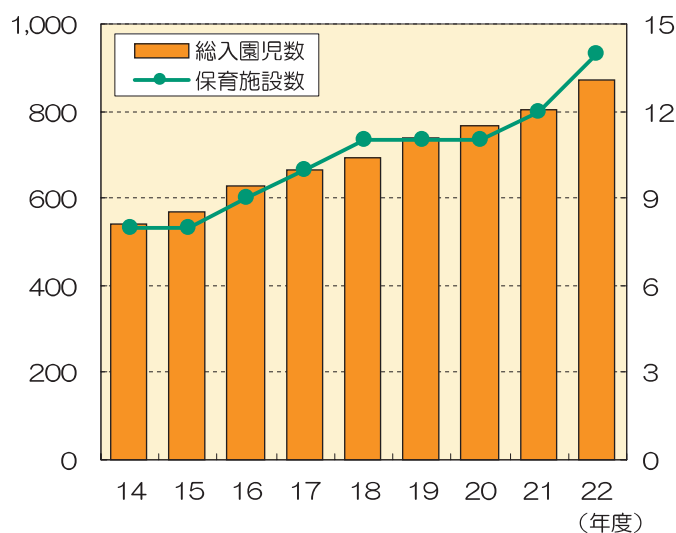


現状と課題

- 平成 14 年から平成 21 年まで待機児童ゼロを継続してきました。
- 乳幼児人口の増加や保育ニーズの高まりなどにより、入園希望者が増加しており、保育基盤の整備に努めていく必要があります。
- 仕事と家庭の両立が難しい環境の中で、仕事をあきらめざるを得ない事例があります。

区内保育施設と入園児数の推移

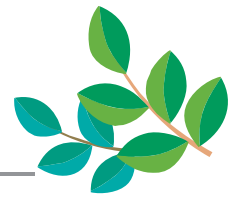
(各年度4月1日現在)



資料：子ども・教育部

課題解決の方向性

- 伸び続ける保育需要に見合うよう保育供給とメニューを確保し、ニーズに対してゆとりのある保育基盤を整備します。
- 区立認可保育園の改築や私立認可保育園、認証保育所などの誘致により、保育所への受け入れ可能人数を増やします。
- 保育環境の整備を通じて、男女がともに働きやすい環境をつくるための支援を進めます。



めざすべき5年後の姿

- 待機児童ゼロを継続し、兄弟（姉妹）が同じ保育園に入所できている。
- 保育所への受け入れ可能人数が、次世代育成支援ニーズ調査に基づく推定ニーズ量を上回る 1,274 人になっている。
- 認可保育園、認証保育所、在宅保育など多様な保育から、それぞれのライフスタイルなどに合わせて保育環境を選択できるようになっている。



5年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
保育園舎の整備	伸び続ける保育需要に対応するため、麴町保育園、神田保育園を改築整備し、定員に対しゆとりのある保育基盤の整備に取り組みます。また、改築を機に、多様な保育ニーズへの対応や、子育て支援機能の充実を図ります。
保育室等の設置	0歳児から2歳児の保育需要に対応するため、未利用区有施設を活用し、緊急対策として保育室を整備します。
私立認可保育園・認証保育所の誘致	伸び続ける保育需要に対応するため、私立認可保育園や認証保育所を誘致し、定員に対しゆとりのある保育基盤の整備に努めていきます。

千代田区第3次基本構想の視点

- 2 福祉の心が通いあう、安心と支え合いのまち
- 13 安心して子育てができ、子どもたちが健やかに成長できるまち

12 学童クラブの「待機児童ゼロ対策」に取り組めます



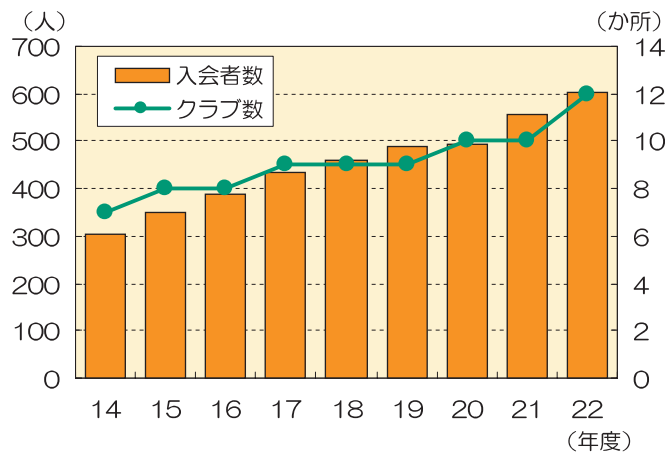
学童クラブの待機児童ゼロをめざし、放課後や学校休業日に、安全に安心して過ごせる環境を整えます。

現状と課題

- 共働き家庭の増加などに伴い学童クラブの入会希望者が増えており、待機児童の発生が懸念されています。
- 放課後子ども教室を全小中学校で実施していますが、月曜から土曜までの完全実施には至っていません。保護者の就労の有無にかかわらず、放課後や学校休業日に、子どもが安心して安全に過ごせる場所の確保が必要です。

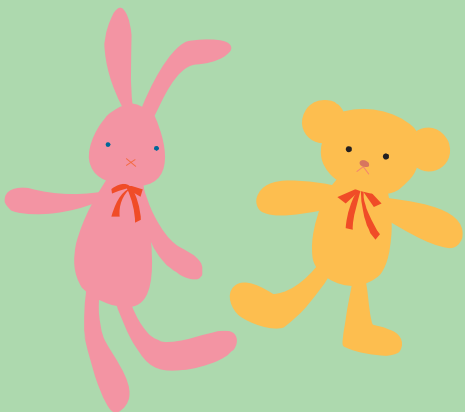
学童クラブの入会者数とクラブ数の推移

(各年度4月1日現在)

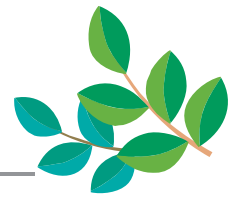


資料：子ども・教育部

課題解決の方向性



- 子どもの生活の場である学童クラブの待機児童ゼロ対策に取り組み、仕事と家庭の両立を支援します。
- 児童館や学童クラブと放課後子ども教室の連携をさらに深め、放課後や学校休業日に、すべての小学生が安心・安全に過ごせる機会を一層充実します。



めざすべき5年後の姿

- 学童クラブの待機児童ゼロを継続している。



- 児童館、学童クラブや放課後子ども教室の充実により、放課後や学校休業日の子どもの安全な居場所が確保され、子どもたちに活発に利用されている。

5年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
学童クラブの待機児童ゼロ対策	学童クラブの定員の拡大や大規模学童クラブのクラス分割による児童の安全確保、スポット学童サービスの実施など、待機児童ゼロの継続に努め、子どもが安心して過ごせる生活の場所を提供していきます。
放課後子ども教室	小学校に在籍するすべての児童を対象に、保護者が就労しているかどうかにかかわらず、小学校施設を活用し、放課後や学校休業日に子どもの安心・安全な居場所づくりを展開していきます。
富士見わんぱくひろば	富士見みらい館内に児童館的機能や学童クラブを新設し、0歳から18歳未満の児童とその保護者にかかわる児童の健全育成と地域活動の拠点としていきます。

千代田区第3次基本構想の視点

- 2 福祉の心が通いあう、安心と支え合いのまち
- 13 安心して子育てができ、子どもたちが健やかに成長できるまち

13 子どもが安全に安心して過ごせる地域づくりを進めます



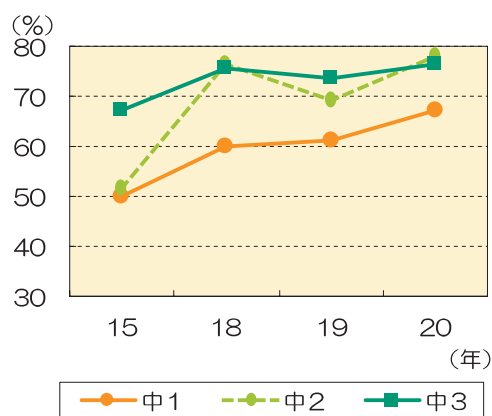
地域ぐるみで子どもたちの健やかな成長を見守るとともに、支援していきます。



現状と課題

- 子どもが犯罪に巻き込まれる事件が発生しています。
- 少子化、核家族化の進行、夫婦共働き世帯の増加等により子どもたちが異世代と交流する機会が減っています。
- 地域ぐるみで子どもの安全を守る意識が薄れつつあります。
- 携帯電話、インターネットの普及等による社会環境の変化に伴い、青少年が新たな犯罪に巻き込まれる危険性が高まっています。

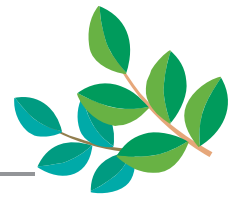
中学生の携帯電話保有率の推移



出典：警視庁「中学生の携帯電話によるインターネット利用等に関する調査」（平成 21 年 2 月）

課題解決の方向性

- 子どもたちが犯罪に巻き込まれる危険に気づき、被害者とならないために、自分を守る方法を学ぶ講習会等を実施します。
- 保護者、地域住民、シルバー人材センターと連携して、ちよだまちかど見守り隊によるパトロールを実施します。
- PTA 等の有志による「千代田区立小学校・PTA こども 110 番連絡会」の活動を支援します。
- 情報モラル教育に取り組みます。



めざすべき5年後の姿

- 子どもたちが自ら犯罪から身を守る方法を身につけている。
- 家庭、学校、地域社会が協力して、子どもたちが安心してのびのび活動できる地域になっている。
- こども110番連絡会による学校・区・地域の連携が行われている。
- 子どもたちの携帯電話やインターネットの使い方について保護者が関心を持ち、危険を回避する家庭のルールが備わっている。



5年後の姿を実現するための主な取り組み

取組項目	取組内容
ちよだまちかど見守り隊	犯罪から子どもを守り、安全で安心な地域社会をめざすために、子どもの登下校時を中心とした見守りパトロールを実施します。
児童の安全確保対策	区立小学校のPTA・保護者等の有志によるこども110番連絡会の活動を、学校・区・地域が連携し、全面的に支援します。
セーフティ教室	子どもたちを対象に、犯罪から身を守る方法を身につけるための講習会等を実施します。また、学校、家庭、地域で構成する協議会をつくり、子どもを犯罪から守る取組みをすすめます。
親子で学ぶ「情報モラル」	子どもたちがインターネットや携帯電話などを利用するときに、必要なルールやマナーなどの知識を保護者とともに学び、情報モラルの育成に取り組みます。

千代田区第3次基本構想の視点

- 2 福祉の心が通いあう、安心と支え合いのまち
- 13 安心して子育てができ、子どもたちが健やかに成長できるまち

14 子育てに関する相談態勢を整え、育児を通じた親育ちを支援します



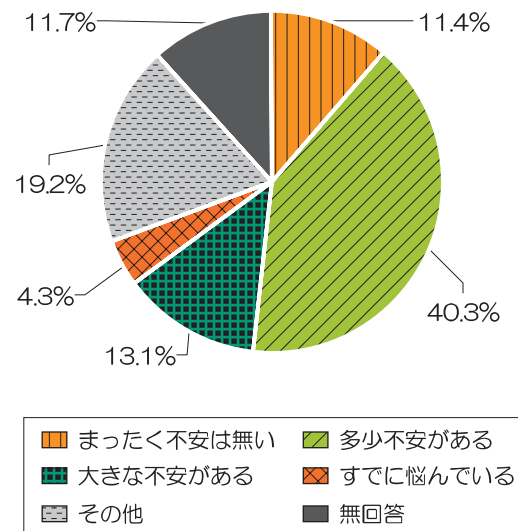
子育てや教育など、子どもと家庭に関するサポート体制を充実し、子どもの健やかな成長と家庭生活を支えます。



現状と課題

- 核家族化の進行、近所づきあいの減少などにより、子育てに関する相談を身近な場所ですにくくなっています。
- 社会生活に必要なルールを子どもに教えたり、基本的なしつけができない親が増えてきたという指摘があります。
- 個別の支援が必要な子どもが増えていきます。

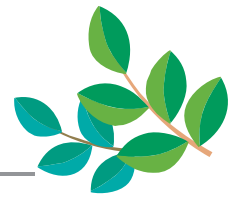
子育てについて



資料：第36回 千代田区民世論調査（平成21年度）

課題解決の方向性

- 子どもが抱く悩みの相談や、親の育児に対する相談機能を充実させます。
- 講習会や相談等の「親育ち」のための子育て施策を実施し、初めて育児を経験する保護者の支援を図ります。
- 個別の支援が必要な子どもへの支援体制の充実を図るとともに、発達支援や特別支援教育に対する保護者と周囲の人々の理解を深めていきます。



めざすべき5年後の姿

- 子どもからの相談と、親の子育てに対する相談の機能が充実している。
- 子育てについて不安を持つ人が減少している。
- すべての子どもが自分の特長や個性を活かし、尊重されながら学校生活を送っている。



5年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
子どもと家庭に関わる総合相談	子どもと家庭に関わるあらゆる相談に対応し、適切な助言や支援サービスの提供を行うことで、子育ての孤立化を防ぎ、子どもの健やかな成長と家庭生活の支援に努めます。
スクールカウンセラーの派遣	区立の幼稚園、保育園、小・中学校、児童館等にスクールカウンセラーを派遣し、児童・生徒、保護者、教職員へ継続的に心理的支援を行うことにより、子どもの健やかな育成と家庭生活の支援に努めます。
親育ち支援プログラム	子育てに対する不安感や負担感を軽減するために、主に初めて子育てをする保護者を対象とした学習プログラムを実施し、地域における子育て支援の充実と親育ちの支援に努めます。
子育てひろば	児童館など子育て中の保護者と乳幼児が自由に遊べる場所で、他の利用者と交流したり、職員等に相談することで、子育ての悩みや不安を解消し、子育ての負担感を軽くします。
チャイルド・ケア・プランナー	区の子育て支援サービスを総合的に紹介しながら相談に応じることで、保護者の子育てに対する負担を軽減し、親育ちを支援します。
発達支援・特別支援教育の充実	保健、福祉、教育の連携により、個別支援の必要な児童を早期に発見し、早期支援、就学相談等を通じ、幼児期から円滑な学校生活へ、さらには就労支援まで継続した支援体制を構築します。

千代田区第3次基本構想の視点

- 3 心豊かに学び、文化を創り出すまち
- 15 未来を担う人材が育つまち

15 個性を伸ばし、生きる力を育む教育を進めます



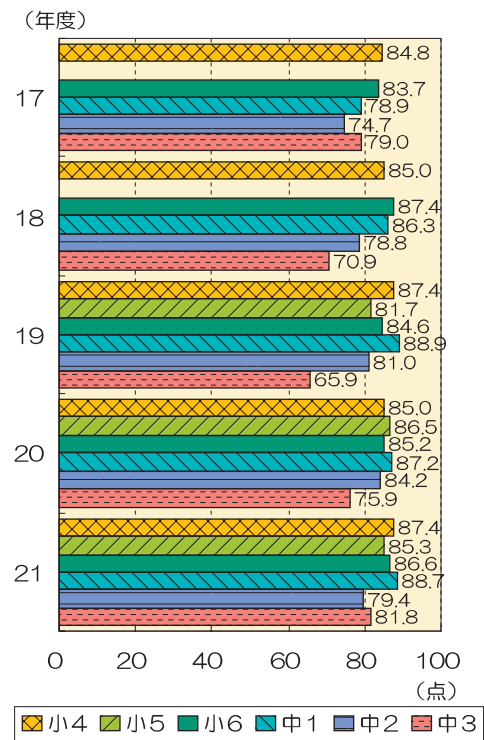
一人ひとりの個性や能力を伸ばし、知・徳・体のバランスのとれた教育に取り組みます。



現状と課題

- 子どもたちの興味・関心や習熟の程度など、一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導の充実が求められています。
- 他者を思いやる心や、美しいものに感動する心を育む教育が求められています。
- 子どもたちの生活習慣の確立や、基礎体力の向上が課題となっています。

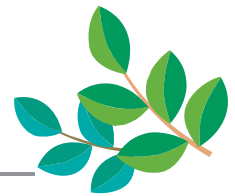
平均達成率の推移



※達成率とは、その集団で、達成してほしい「おおむね満足」の理解度（目標値）に到達している児童・生徒の割合をいいます。
資料：子ども・教育部

課題解決の方向性

- 小学校における教科担任制、中学校における少人数指導を充実するとともに、各学校・園の創意工夫を凝らした特色ある教育活動をより一層推進します。
- 道徳や情報モラルの確実な定着とともに、自然体験・社会体験等をより一層充実し、家庭・学校・地域が一体となった心の教育の推進を図ります。
- 家庭や学校における食育の推進と体力の向上に取り組みます。



めざすべき5年後の姿

- 子どもたちの個性を活かすきめ細かな指導や、各学校・園が創意・工夫を凝らした特色ある教育活動をより一層推進している。
- 家庭・学校・地域がともに手を携えて、子どもたちを健やかに成長させるための心の教育に取り組んでいる。
- 子どもたちが自らの健康に関心を持ち、その基盤となる基本的な生活習慣を確立し、健康や体力について自己管理ができるようになる。



5年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
きめ細かな指導の推進	少人数授業のきめ細かな指導の充実とともに、理科支援員の派遣、小学校英語活動を推進し、基礎学力の向上を図ります。
特色ある教育活動支援	校（園）長の裁量権を拡げ、地域や子どもたちの実態に応じて、創意・工夫を凝らした特色ある教育活動を支援します。
心の教育の推進	いじめ防止や情報モラルの習得、道徳授業地区公開講座の実施など、地域と連携した親と子の「心の教育」を推進します。
自然体験・社会体験の充実	学校（園）、児童館及び地域団体等における自然体験、社会体験をより一層充実していきます。
健康・体力向上・食育の推進	心身の健康のため、個に応じた適度な運動・休養・栄養をバランスよく生活に取り入れるため、児童・生徒、保護者へのアドバイスや指導を行います。
幼児教育のあり方の検討	生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っている幼児教育のあり方について、多角的な検討を進めます。

千代田区第3次基本構想の視点

- 3 心豊かに学び、文化を創り出すまち
- 15 未来を担う人材が育つまち

16 子どもを育む環境の整備を進めます

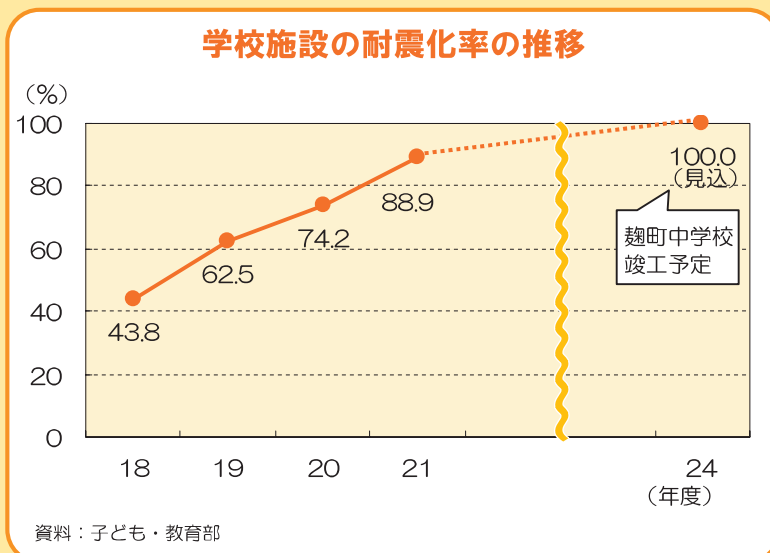


子どもたちが一日の大半を過ごす活動の場である学校施設・児童福祉施設を、さらに良好な環境とするために整備します。



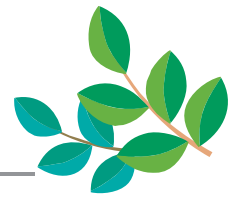
現状と課題

- 改築整備を進めている施設がある一方で、老朽化などにより大規模改修や建替えが必要となる施設があります。
- 施設の改築整備や大規模改修を進めるうえで、防災拠点、地域開放、温暖化対策等への配慮が求められます。
- 施設整備については、地域・保護者などの理解を得て、地域の総意のもと進めていく必要があります。



課題解決の方向性

- 学校施設や児童福祉施設についての改修計画を策定し、計画的な建替え、大規模改修を実施します。
- 学校施設や児童福祉施設は、防災拠点や地域コミュニティの核としての役割も担う施設であることを考慮し、整備を進めます。また、温暖化対策やヒートアイランド対策等の環境面にも配慮していきます。
- 施設の建設手法、運営手法、機能、ボリューム等については、地域・保護者などの理解を得て、地域の総意のもと進めます。



めざすべき5年後の姿

- 施設の計画的な改築整備、大規模改修が進められ、子どもを育む環境が改善されている。
- 計画されている改築整備、大規模改修については、地域の防災拠点、地域コミュニティの核としての役割も担って整備され、温暖化対策、ヒートアイランド対策がなされている。



富士見みらい館

5年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
教育施設の整備	老朽化した麴町中学校の建て替え、九段中等教育学校（九段校舎）の大規模改修を行い、防災拠点や地域開放、温暖化対策等に配慮しながら、教育環境の整備を図ります。また、九段小学校・幼稚園、お茶の水小学校・幼稚園、神田一橋中学校について整備手法等の調査を行い、計画的な整備を進めます。
保育施設の整備	伸び続ける保育需要に対応するため、麴町保育園、神田保育園を改築整備し、定員に対してゆとりのある保育基盤の整備に取り組みます。また、改築を機に、多様な保育ニーズへの対応や、子育て支援機能の充実を図ります。

千代田区第3次基本構想の視点

- 2 福祉の心が通いあう、安心と支え合いのまち
 - 13 安心して子育てができ、子どもたちが健やかに成長できるまち
- 3 心豊かに学び、文化を創り出すまち
 - 15 未来を担う人材が育つまち

17 子どもへの虐待がない地域づくりをめざします



子どもへの虐待が発生しないよう、また虐待が起きて
も早期に発見し、適切な対応ができるように地域の見
守り態勢や相談体制を整えます。



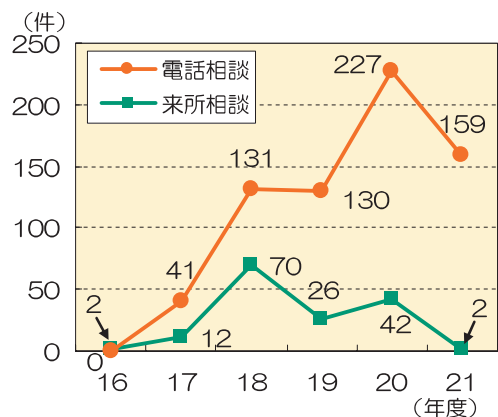
現状と課題

- 核家族化、少子化が進行するなかで、
子どもの身体生命を脅かし、心に深
い傷を負わせる「子どもへの虐待」
が大きな社会問題となっています。
- 虐待の原因として、「子育て不安」、
「職場のストレス」、「生活苦などの
経済問題」など複数の要因が指摘さ
れています。
- 家庭内で行われる子どもへの虐待
は、重大な事件になるまで発見され
ないことが少なくありません。

課題解決の方向性

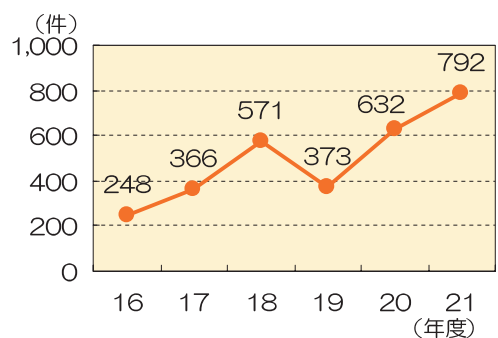
- 子どもへの虐待防止に向けた普
及・啓発を行うとともに、早期
発見と迅速で的確な対応ができ
る通報・相談体制を整備します。
- 児童・家庭支援センターを中心
に、東京都児童相談センター、
母子保健、児童福祉、教育、民生・児童委員等の関係機関が相互に情報を共
有し、より一層の連携・協力体制をとります。
- 養育困難家庭の子どもや、虐待を受けた子どもを一時的に保護するための施
設整備を進めます。

区の子童虐待相談対応件数



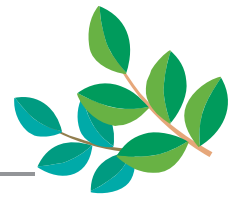
資料：子ども・教育部

相談に関わる他機関との連携件数



連携機関：都児童センター、医療機関、警察、児童養護施設、民生児童委員、社会福祉協議会、教育委員会関係各課、保健所 等

資料：子ども・教育部



めざすべき5年後の姿

- 虐待の早期発見と適切な対応が行える態勢が整備されている。
- 子育てに対する不安を軽減するための子育て支援サービスが充実し、地域で子育てできる環境が整っている。
- 虐待を受けた子どもなどを一時的に保護する施設が確保されている。



5年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
要保護児童地域対策地域協議会	児童虐待の予防、早期発見、早期対応、再発防止のため、保健所、保育園、学校（園）等、区の関係部署のほか、民生・児童委員、医師会、警察署等が構成員となり、情報の共有、相互の連携・協力等を行います。
ショートステイ・トワイライトステイの実施	保護者が病気や仕事、さらには児童虐待等の場合に、子どもを一時的に保護するための施設を確保します。
子どもと家庭に関わる総合相談（再掲）	子どもと家庭に関わるあらゆる相談に対応し、適切な助言や支援サービスの提供を行うことで、子育ての孤立化を防ぎ、子どもの健やかな成長と家庭生活の支援に努めます。
スクールカウンセラーの派遣（再掲）	区立の幼稚園、保育園、小・中学校、児童館等にスクールカウンセラーを派遣し、児童・生徒、保護者、教職員へ継続的に心理的支援を行うことにより、子どもの健やかな育成と家庭生活の支援に努めます。
親育ち支援プログラム（再掲）	子育てに対する不安感や負担感を軽減するために、主に初めて子育てをする保護者を対象とした学習プログラムを実施し、地域における子育て支援の充実と親育ちの支援に努めます。
チャイルド・ケア・プランナー（再掲）	区の子育て支援サービスを総合的に紹介しながら相談に応じることで、保護者の子育てに対する負担を軽減し、親育ちを支援します。

千代田区第3次基本構想の視点

- 福祉の心が通いあう、安心と支え合いのまち
- 13 安心して子育てができ、子どもたちが健やかに成長できるまち